

授業計画 【第11回】	指導計画の作成② ・意欲を引き出す、授業のポイント、指導の工夫を考える。 ・題材設定を踏まえ、授業子言う想を練る。
授業計画 【第12回】	指導計画の作成③ 伝統や文化に関する教育を取り込んだ図画工作の指導案を試案する。
授業計画 【第13回】	図画工作科における教科書・美術館の利活用 ・図画工作科教育の時代的変遷について学び、今後の展開を考える。 ・学校外の取り組みについて解説し、視野を広げる。
授業計画 【第14回】	造形遊びをする活動について ・低学年～中学年～高学年 ・身近な素材を使って、室内、屋外へと表現活動の広がりをとめて。
授業計画 【第15回】	図画工作科の目標及び内容について ・世界的・社会的視野での図画工作研究 学びの広がりを促す。
授業の到達目標	・学習指導要領の目標内容を踏まえ、発展的に試行していく。 ・子どもの表現を理解し、発達段階の理解につなげる。 ・図工の基礎実習を通して、表現する楽しさを体感する。 ・図画工作科における多様な表現を体験し、表現の幅を広げる。
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業で使用する、材料、道具の準備を必ず行うこと。 ・えのぐ、クレヨン、紙など ・身近なものをスケッチする（約1時間）
授業時間外学習【復習】	経験したことを実際の生活の中で再現してみるとよい。試行錯誤を繰り返しながら、自分のものとしてほしい。 身近なものをスケッチする（約1時間）
課題に対する フィードバック	造形表現と図画工作との関連の理解を深め要約のレポートを評価する。図画工作教育の方法や小学校指導要領について、必須要点をまとめレポートする。実技実習は到達度レベルを示し評価する。
評価方法・基準	授業中の参加意欲・態度と提出課題で採点する。（配点割合：授業の態度等30%、実習課題30%、レポート課題40%）
テキスト	・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編 : 文部科学省 日本文教出版発行 110円 『明日の小学校教諭を目指して子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法』新野貴則 福岡知子 萌文書林 2750円 学生生協で販売
参考書	『いっしょに考えよう 図工のABC』 日本文教出版 『図工・美術がもっと好きになる 造形のABC』 日本文教出版 『学びとしての図画工作 題材のABC』 日本文教出版 『美術による人間形成』ローウェンフェルド 黎明書房 『芸術による教育』ハーバード・リード フィルムアート社 『ティゼックの美術』W・ヴィオラ 黎明書房 『造形教育事典』 監修 真鍋一男・宮脇理 （建帛社）
備考	※実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）